

【NEWS RELEASE】

2024年4月17日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
ハウライ株式会社循環型の酪農・林業における協業について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）とハウライ株式会社（代表取締役社長兼社長執行役員：寺本 敏之、以下、「ハウライ」）は、循環型の酪農・林業における協業を目的とした覚書を締結いたしました。今後、SMBC グループとハウライは、本覚書に基づき、以下に記載する内容について知見共有や具体的な取組等を行ってまいります。

SMBC グループは、昨年度より、「幸せな成長」の実現のため、幾多の社会課題の中で、環境、DE&I・人権、貧困・格差、少子高齢化、日本の再成長の5つを、特に解決を目指すべき重点課題として定めており、持続可能な循環型酪農を実践し100年以上牧場事業を営むハウライとの協業を通じて一次産業発展への貢献や社会貢献活動のフィールドを多様化することで、「環境」への取組を進めます。

ハウライは、SMBC グループと連携し次世代へ繋がる循環型酪農の高度化への取組を通じ「環境にやさしい牧場づくり」を行い、サステナブルな「環境適応型企業」として、SDGs への更なる貢献に努めてまいります。

尚、2024年6月にはハウライが運営する那須塩原市の千本松牧場にて、体験機会の少ない子どもたちへ自然体験学習の一環として、NPO 団体等と連携した社会貢献活動を実施する予定です。

<本協業で検討する主な内容>

- ・ 「**循環型酪農**」の高度化
千本松牧場のふん尿処理の高度化、メタン抑制、飼料自給率の向上等、持続的な酪農基盤の確立
- ・ 「**循環型林業（森林エコシステム）**」の構築
千本松牧場における森林の活用、新サービス・商品の開発、循環型林業モデルの構築と全国への展開

<循環型の酪農・林業のイメージ図>



<千本松牧場について>

所在地	栃木県那須塩原市千本松 799
敷地面積	800ha 以上 (東京ドーム 170 個分相当)
年間来訪者数	約 100 万人
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1893 年開設の日本遺産に登録されている牧場で、「自然との共生」を経営理念に掲げ、「PURE MILK FARM」をブランドコンセプトに持続可能な循環型酪農を実践。 ・ 400ha におよぶ広大な森林の計画的な管理育成により、酪農で発生するメタンガス相当量を吸収、カーボンニュートラルな酪農を目指す。 ・ 2024 年秋竣工予定のレストラン・売店のリニューアルでは、太陽光パネルによる自家発電と熱負荷を抑えた建物の構造・素材の採用、敷地内の森林計画に基づく木材活用、地場素材の有効活用を進める。 <p>https://www.senbonmatsu.com/</p>

以 上